

学 第 1 1 2 8 号
令和 5 年 3 月 7 日

各私立専修学校設置者
(専門課程を置く専修学校に限る)
各私立専修学校長
(専門課程を置く専修学校に限る)

} 様

岩手県ふるさと振興部学事振興課総括課長

高等教育の修学支援新制度における適格認定（学業）において警告が連続した者の再支援について（通知）

このことについて、別添のとおり文部科学省高等教育局学生支援課から事務連絡がありましたので、ご確認願います。

各学校におかれましては、学生に改正内容について周知いただくほか、経過措置により再申請が可能となる学生に対して案内いただくようお願いします。

なお、文部科学省より通知の補足として以下のとおり連絡がありましたので、併せてご確認願います。

文部科学省補足内容

本改正においては、「廃止の判定となった適格認定の次の学年の学業成績等が継続相当」である学生について、「廃止後の学業成績等が継続相当であった学年の次の学年中」に再申し込み可能となるものとございます。

したがって、2年制課程の2年次前半期や4年制課程の3年次に廃止になった学生や、1年制または3年制課程など再申込可能な時期がない場合については本件の対象とはなりませんのでご注意ください。

【担当】

学事企画担当 高橋

TEL : 019-629-5045

FAX : 019-629-5049

Mail: AH0007@pref. iwate. jp

高等教育の修学支援新制度において、適格認定（学業）において警告が連続した場合の取り扱いについて制度変更を行う予定です。経済的に厳しい状況にある生徒が進学を断念することがないよう、周知等の御協力をお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 5 年 3 月 3 日

各地方公共団体（各都道府県、各市町村、各事務組合等）

公立学校に係る高等教育の修学支援新制度担当課

御中

各地方公共団体（各都道府県）

私立専門学校に係る高等教育の修学支援新制度担当課

御中

文部科学省 高等教育局 学生支援課

高等教育の修学支援新制度における適格認定（学業）において
警告が連続した者の再支援について（周知）

平素は高等教育行政に格別の御高配を賜り、誠にありがとうございます。

令和 2 年 4 月から、生活保護世帯や住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生等を対象に、大学・短期大学・高等専門学校（4 年生及び 5 年生）・専門学校に通う際の授業料等の減免と返済不要の給付型奨学金の支給を行う「高等教育の修学支援新制度」（以下、「新制度」という。）を実施しております。

さて、本制度では、一定の学業成績に達していることを支援継続の要件としており、学業成績における適格認定において 2 度連続して「警告」が行われると支援を受けることができなくなる仕組みとなっております。

一方で、本制度は、支援を受けた学生が大学等でしっかりと学んだ上で、社会で自立し、活躍できるようになることを目的としていることから、本制度の趣旨に照らして、一旦、警告の連続により支援を受けられなくなったとしても、修学を継続し、良好な学業成績を修めて修業年限までに卒業することを後押しするため、支援が受けられなくなった後の学業成績次第で、支援を再開させるよう制度を見直すことといたしました。

このため、現行規定を改め、2 度目の「警告」が、GPA 等が学部等における下位 4 分の 1 に属することのみによる場合には、翌期に「警告」相当の事由がなければ、再度支援を受けることを可能とするための措置を講ずることとします。

制度改正の概要は下記のとおりですので、本制度改正に関する学生等への周知等について、よろしくお願い致します。

なお、本件について、現在、省令改正に係るパブリックコメントを行っておりますが、省令改正が行われた際には、改めて通知します。

記

1. 給付奨学生及び授業料減免の適格認定（学業）に係る基準の改正（令和5年10月から実施）

現行の新制度においては、適格認定（学業）において2回連続で「警告」に該当する場合には、「廃止」となりますが、今回の制度改正により、令和5年10月以降に行われる適格認定（学業）においては、新たに「停止」の区分を設け、2回連続して「警告」となった場合のうち、2回目の「警告」の理由が、「GPA等が学部等における下位4分の1の範囲に属すること」（以下「GPA基準」という。）のみによる場合は「停止」とし、「停止」後最初の適格認定（学業）において、「警告」又は「廃止」に該当しない場合、次の学年（2年以下の課程・高専の場合は学年の半期）から再支援を可能とします。具体的な基準の改正内容については、別紙1をご参照ください。

2. 令和5年9月適格認定以前の適格認定において連続警告により廃止となった者の経過措置

現行の新制度においては、給付奨学金及び授業料等減免が「廃止」となった後の再申込は認められていませんが、上記1.の改正以前に「警告」の連続により「廃止」となった者のうち、2回目の「警告」がGPA基準のみであり、「廃止」の判定の適格認定（学業）の次の学年の学業成績等が、給付奨学金及び授業料等減免の適格認定基準における「継続」相当であった者については、令和5年4月以降の在学採用から再申込を可能とします（例えば、4年制大学において、令和3年度末にGPA基準のみで2回目の「警告」により「廃止」となり、令和4年度の学業成績等が適格認定基準における「継続」相当であった者の場合、令和5年4月に再申込が可能）。具体的な実施内容については、別紙2－1及び別紙2－2をご参照ください。

【本件問合せ先】

（制度全般及び授業料等減免に関すること）

文部科学省 高等教育局学生支援課 高等教育修学支援室

電話：03-5253-4111（代表）（内線 3958, 3280）

e-mail: koto-syugaku-chihou@mext.go.jp

※ お問合せは、メールにてお願いします。

（給付奨学金に関すること）

・申込・採用に関すること

独立行政法人日本学生支援機構

貸与・給付部採用課 採用係（特設電話）

電話：03-6636-6180（平日9時～18時15分）

FAX：03-6743-6669

・適格認定（学業）に関すること

独立行政法人日本学生支援機構

貸与・給付部奨学指導課 異動・補導係

電話：03-6743-6039（平日9時～18時15分）

FAX：03-6743-6673

給付奨学生及び授業料減免の適格認定（学業）に係る基準の改正

■令和5年9月まで（現行の基準）

区分	学業成績の基準
廃止 【特例1】	<ul style="list-style-type: none"> ・修業年限で卒業又は修了できないことが確定した場合 ・修得した単位数の合計数が標準単位数の5割以下である場合 ・履修科目の授業への出席率が5割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況にあると認められる場合 ・<u>警告の区分に該当する学業成績に連続して該当する場合</u>
警告 【特例1】	<ul style="list-style-type: none"> ・修得した単位数の合計数が標準単位数の6割以下である場合（廃止の区分に該当するものを除く） ・<u>GPA等が学部等における下位1/4の範囲に属する場合</u>【特例2】【特例3】 ・履修科目の授業への出席率が8割以下であることその他の学修意欲が低い状況にあると認められる場合（廃止の区分に該当するものを除く）
継続	「廃止」、「警告」以外の場合

※ 斟酌すべきやむを得ない事情がある場合の特例措置（【特例1】～【特例3】については以下を参照。給付奨学金について：「給付奨学金（新制度）奨学事務の手引」第7、授業料減免について：「高等教育の修学支援新制度 授業料等減免事務処理要領」第2節（2）1）③）」



■令和5年10月から（改正後の基準）

- ① 廃止区分における「警告の区分に該当する学業成績に連続して該当する場合」（※1）について、**2回目の警告となったときの警告事由が「GPA等が学部等における下位1/4の範囲に属する場合」のみ**に該当する場合は、廃止とせず**停止とする**。（学業成績不振による停止※2）

※1 以下「連続警告」という。

※2 以下「停止（成績）」という。

- ② 停止（成績）となった**次の適格認定**において、

・学業成績等が「**継続**」相当の場合 → **停止（成績）を解除**する。※

・学業成績等が「**継続**」相当以外の場合 → **廃止**とする。

※ 他の停止事由に該当していなければ、支援が再開（復活）します。

【事例1】停止（成績）とならず廃止となるケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」でなければ、連続警告は廃止となる。（改正前と同様）

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	廃止 (支援なし)	(支援なし)
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	GPA事由+修 得単位事由の 「警告」相当	—	—

【事例2】停止（成績）となり、復活するケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」のため停止となり、次の適格認定で継続相当のため復活となる。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	停止（成績） (支援なし)	復活 (支援あり)
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	GPA事由のみ の「警告」相当	「継続」相当	(省略)

【事例3】停止（成績）となるが、復活できず廃止となるケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」のため停止となるが、次の適格認定で警告相当のため廃止となる。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	停止（成績） (支援なし)	廃止 (支援なし)
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	GPA事由のみ の「警告」相当	何らかの 「警告」相当	—

【事例4】停止（成績）となるが、復活する前に卒業するケース

：停止（成績）となった次の適格認定で継続相当であっても、卒業により支給期間は終了。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	支援あり	停止（成績） (支援なし)
学業成績 (適格認定)	「継続」相当	何らかの 「警告」相当	GPA事由のみ の「警告」相当	「継続」相当

【第一種奨学金について】

事例2～事例4において、給付奨学金と併せて貸与を受けている場合、停止（成績）中は給付奨学金・授業料減免とも支援がなくなるため、第一種奨学金は満額支給となります。

過去に警告の連続により廃止となった者の再申込（経過措置）

通常、給付奨学金及び授業料等減免が廃止となった後の再申込は認められていませんが、令和5年10月からの適格認定基準の改正（別紙1）より前に警告の連続により廃止となった者については、令和5年4月から再申込を認めることにより支給の再開を可能とする対応を行います。

1. 対象者

次の①・②の条件を両方とも満たす場合、再申込を可能とします。

- ① 令和5年9月適格認定以前の適格認定において連続警告により廃止となった者で、2回目の警告が「GPA事由」のみであった者
- ② 廃止の判定となった適格認定の次の学年（2年以下の課程・高専の場合は学年の半期）の学業成績等が、給付奨学金及び授業料等減免の適格認定基準でいう「継続」相当である者

2. 再申込可能な時期

（2年以下の課程・高専の場合）

廃止後の学業成績等が「継続」相当であった学年の半期（前記1. ②）の次の半期中（上記以外の場合）

廃止後の学業成績等が「継続」相当であった学年（前記1. ②）の次の学年中

3. 再申込時に確認する要件

通常の申込時と同様です（たとえば家計基準を満たさない場合は不採用となります）。ただし、学力基準については、前記1. ②に該当することをもって基準を満たすものとして扱います。

4. 学校における事務の流れ

【給付奨学金について】

(1) 学業成績の確認

前記1. ①に該当する者について、廃止の判定となった適格認定の次の学年（2年以下の課程・高専の場合は学年の半期）の学業成績をご確認ください。（卒業等により再申込できる可能性がない者についてはご確認ください必要はありません。）

✓ 前記1. ①に該当する者の一覧を提供します。（確認方法は別紙2-2参照）

(2) 再申込可能者への連絡

(1)により前記1. ①②の条件を両方とも満たすと確認できた者（ただし、再申込後も引き続き在学する者に限る）に対して、再申込が可能である旨をご連絡ください。

(3) 推薦

再申込可能者から申込みがあった場合は、推薦をお願いいたします。

✓ 申込手続きは通常の手続きと同じですが、推薦手続きは一部通常の手続きと異なる部分があります。（詳細は別紙2-2参照）

【授業料等減免について】

(1) 学業成績の確認

前記 1. ①に該当する者について、廃止の判定となった適格認定の次の学年（2年以下の課程・高専の場合は学年の半期）の学業成績をご確認ください。（卒業等により再申込できる可能性がない者についてはご確認いただく必要はありません。）

(2) 再申込可能者への連絡

(1)により前記 1. ①②の条件を両方とも満たすと確認できた者（ただし、再申込後も引き続き在学する者に限る）に対して、再申込が可能である旨をご連絡ください。

(3) 選考

再申込可能者から申込みがあった場合は、選考をお願いいたします。

【事例1】廃止となった時点で再申込不可となるケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」でなければ、連続警告により廃止となった適格認定の次の学年（半期）の学業成績等が継続相当であっても再申込は不可。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	廃止 (支援なし)	再申込 不可
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	<u>GPA事由+修得 単位事由</u> の 「警告」相当	「継続」相当	—

【事例2】再申込可能となるケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」であり、連続警告により廃止となった適格認定の次の学年（半期）の学業成績等が継続相当のため再申込は可能。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	廃止 (支援なし)	再申込 可能
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	<u>GPA事由のみ</u> の「警告」相当	「継続」相当	(省略)

【事例3】廃止後の学業成績等により再申込不可となるケース

：2回目の警告の事由がGPA事由「のみ」であり、連続警告により廃止となった適格認定の次の学年（半期）の学業成績等が警告相当のため再申込は不可。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	廃止 (支援なし)	再申込 不可
学業成績 (適格認定)	何らかの 「警告」相当	<u>GPA事由のみ</u> の「警告」相当	何らかの 「警告」相当	—

【事例4】再申込可能となる前に卒業するケース

：連続警告により廃止となった適格認定の次の学年（半期）の学業成績等が継続相当であっても、卒業により再申込が可能な期間が存在しない。

(4年制大学の場合)	1年次	2年次	3年次	4年次
(2年制専門学校の場合)	1年次前半期	1年次後半期	2年次前半期	2年次後半期
給付奨学金・授業料減免	支援あり	支援あり	支援あり	廃止 (支援なし)
学業成績 (適格認定)	「継続」相当	何らかの 「警告」相当	<u>GPA事由のみ</u> の「警告」相当	「継続」相当

給付奨学金に係る警告の連続により廃止となった者の再申込（経過措置）
【該当者の確認方法及び選考ソフトの推薦手続きについて】

1. 該当者の確認方法

(1) スカラ AC からのダウンロード

スカラ AC から、該当者の一覧がダウンロード可能です。一覧には、次の条件を満たすもののみを表示しています。

・令和 5 年 9 月適格認定以前の適格認定において連続警告により廃止となった者で 2 回目の警告が「GPA 事由」のみであった者

・学業成績の要件を満たした場合、2023 年 4 月以降に再申込が可能な者※

※2023 年 3 月時点での状況です。今後データが追加された際は「要件を満たした場合の再申込可能年月」欄をご確認ください。

＜スカラ AC＞

奨学生一覧の確認、異動願(届)等 ≫ 予約採用（国内）・定期採用・緊急採用 ≫ 各種データのダウンロード ≫ 適格認定（学業）連続警告廃止の再申込確認データ

【給付】 給付奨学生一覧データ ＜2022年11月分＞	XXX 件	ダウンロード	給付奨学生の詳細情報(支援区分、個人番号(マイナンバー)提出状況等)の情報をダウンロードすることができます。(旧制度の給付奨学生を除く)
【給付】適格認定(学業) 連続警告廃止の再申込 対象確認データ	XXX 件	ダウンロード	【給付】適格認定(学業)連続警告廃止の再申込対象確認データをダウンロードすることができます。
【貸与】 リレー口座提出状況 (2023年2月時点)	XXX 件	ダウンロード	本年度3月満期予定者の口座加入状況、金融機関名等の情報をダウンロードすることができます。
【給付】 支援区分履歴データ	XXX 件	ダウンロード	給付奨学生の支援区分履歴の情報をダウンロードすることができます。

(画像は開発中の画面ですので、一部文言等が変更になる場合があります。)

(2) データの確認方法

ダウンロードしたデータの「対象年度」及び「実施回」から、廃止の判定となった適格認定の対象年度と実施回を確認できます。また、「成績回復の確認期間」に学業成績を確認する期間※を示しています。

なお、卒業等により再申込できる可能性がない者についてはご確認いただく必要はありません。

成績の回復を確認する期間を示しています。

学校番号	学校名	奨学生番号	氏名	カナ氏名	学籍番号	対象年度	実施回	学種	修業年限コード	JSASの学年	廃止時の学年 (理論上)	成績回復の確認期間	要件を満たした場合 の再申込可能年月	作成年月
109990	イクシス大学	520XXXXXXXX	機橋 太郎	キコウ タロウ	XXXX	2021	年度末	04	40	4	3	202204～202303	202304	202303
109990	イクシス大学	521XXXXXXXX	市谷 花子	イチガヤ ハナコ	XXXX	2021	年度末	04	40	4	3	202204～202303	202304	202303

廃止の判定となった適格認定の対象年度と実施回を確認できます。

「JSAS の学年」はデータ作成時に JSAS に登録されていた学年です。
「廃止時の学年（理論上）」は学年進行を踏まえ適格認定対象年度の学年を算出したものです。ただし、理論値のため実際の学年と相違する場合があります。

再申込可能となる年月を示しています。

データの作成月を示しています。データが追加になった場合、どのデータが新規データか確認できます。

- ※ 廃止の判定となった適格認定の次の学年（2 年以下の課程・高専の場合は学年の半期）の学業成績を確認いただくこととしていますが、例えば 2021 年 3 月に廃止になった者は、次の学年の 2021 年 4 月～2022 年 3 月が確認期間ですが、2023 年度の在学採用で推薦する場合、引き続き 2022 年 4 月～2023 年 3 月についても学業成績の回復が継続している必要があるため、その全体の期間を表示しています。また学生が卒業しているかどうかについて、機構では確認できないため、修業年限後の期間が含まれている場合があります。
- ※ 本データについては、3 月中旬以降にダウンロード可能になる予定です。ダウンロード可能になった旨は、学校担当者ページにてお知らせいたします。

(3) 学業成績の確認について

「成績回復の確認期間」において、給付奨学金の適格認定基準でいう「継続」※相当であることを確認してください。

※ 警告または廃止相当ではないこと。

2. 選考ソフトの推薦手続きについて

(1) 学力の入力

給付奨学金の適格認定基準でいう「継続」相当であることが確認できた場合、選考ソフトの学力については、便宜的に次のように入力してください。

【選考ソフト B. 6 学業成績の入力（2 年以上）画面】

給付						
GPA等		修得単位数・学修計画書				給付 学力
上位1/2	取得済	標準 修得 単位数	通算 修得 単位数	卒業に 要する 単位数	学修計画書 による 学修意欲	
0.000	0.000	1	1	248	<input checked="" type="checkbox"/>	
0.000	0.000	0	0	0	<input type="checkbox"/>	
0.000	0.000	0	0	0	<input type="checkbox"/>	

「標準修得単位数」、「通算修得単位数」には便宜的に「1」を入力してください。
また、学修計画書による学修意欲に✓を入れてください。

(2) 「給付推薦所見」の入力

推薦所見に、警告の連続により廃止となった者の再申込になったものである旨を入力してください。

（給付推薦所見の例）

「連続警告により廃止となった者であるが、廃止の判定以降の学業成績等が、給付奨学金の適格認定基準でいう「継続」相当であることを確認の上、推薦する。」

以上

【給付奨学金に係る過去に警告の連続により廃止となった者の再申込に関することについて】

貸与・給付部 採用課 採用係（特設電話）

電 話：03-6636-6180（平日 9時～18時15分）

FAX：03-6743-6669